

令和7年11月利府町教育委員会定例会会議録

- 1 **開催日時** 令和7年11月28日(金)
午後4時00分から午後4時40分まで
- 2 **開催場所** 利府町役場 第3会議室
- 3 **出席委員** 村松淳司 委員(教育長職務代行)
坂下咲希恵 委員
小島優子 委員
- 4 **欠席委員** 高田 修 委員
- 5 **説明のため出席した者**

教育部長	阿部昭博
教育総務課長	小野寺厚人
生涯学習課長	古澤晃一
総務学事係長	太田洋美
総務学事係主査	安住真紀子
- 6 **傍聴者** なし
- 7 **令和7年10月定例会会議録の承認**
原案のとおり承認。
- 8 **本定例会会議録署名委員の指名**
坂下委員と小島委員を指名。
- 9 **一般事務事業報告及び事業計画**
(説明者：教育部長)
原案のとおり承認。
- 10 **報告事項**
 - (1) **令和7年度十符っ子の日実施報告について**
(説明者：生涯学習課長)
児童生徒が夢や志の発表をした。今年は令和7年11月1日に各中学校で開催した。インフルエンザの流行により、利府中学校はオンライン、

しらかし台中学校と利府西中学校は、中学生は体育館に集合したが、小学校とはオンラインという形で実施した。

(2) 放課後子ども教室（通称：サンペアクラス）の菅谷台小学校への開設について

（説明者：生涯学習課長）

サンペアクラスを新規開設する。現在利府第三小学校、青山小学校の2校で開設しているが、西中校区が空白地帯であり、今回、菅谷台小学校に新設するためプレ開催ということで、今年度1月から3回ほど実施する。来年度以降は、本格的に菅谷台小学校でも開催したいと考えている。

(3) 文化祭実施報告について

（説明者：生涯学習課長）

今年も利府町の秋の風物詩ということで、利府町文化祭が開催された。例年通り、芸術文化協会が運営の中心になり、今年は11月2日、3日に開催した。会場はリフノスで、来場者は3863人、昨年度と比較すると、994人ほど入場者が少なかった。原因は、いつもオープニングに出演するチアの子供たちの出演がなかったためである。また、ステージ発表では、利府小のマーチング隊くるみが出演予定だったが、インフルエンザで急遽出演できなくなり、この2つが入場者減になった大きな原因だと思っている。参加者は、出演41団体、出展35団体で、例年通りの参加者参加団体になった。

(4) 文化交流センター「リフノス」の実績報告（令和7年度第2四半期）について

（説明者：生涯学習課長）

7月から9月分の報告である。来館者は6万9415人、昨年度と比較するとだいぶ増えている。図書館資料の貸出数、こちらは若干昨年度と比較すると減っているが、丁重な形で貸し出しを行っている状況である。図書館の事業は、7月5日に一日図書館長を実施した。詳細な報告は、資料の14ページの方をお開きいただきたい。参加者は、小学校高学年を対象に募集2人に対し、3人参加した。内容は、任命式を行った後、レファレンスクイズを活用した調べる体験、持参した私物の本にブックカバーをつける装備体験、カウンターでの貸し出し、配架など実際の業務を実施した。公民館事業は、7月5日、リフノス4周年記念ということで、花乱舞パート4を開催した。詳細な報告書は16ページに記載し

ている。毎年恒例の太鼓の Atoa. (あとあ) さんである。今年はコラボレーション企画として、エレクトーンの奏者の神田将さんとの演奏で、ほぼ満席の大盛況であった。続いて、7月19日、NHK 仙台キッズフェスティバルを開催した。詳細な報告書は17ページに記載している。有名な「ワンワンとあそぼうショー」、「やっぺえとあそびまショー」、それぞれ来ていただいた。テレビ放映はなかったが、すごい人気で、ステージには職員も出演し、利府町の郷土資料館も十分にPRさせていただいた。リーフちゃんも登場し、大変盛り上がったフェスティバルになった。次に、21ページ、小学生の将棋教室を紹介する。全部で4回コース、1回目から3回目は日本将棋連盟の仙台中央支部、利府町将棋愛好会の方々の指導で行った。4回目は目玉ということで、プロ棋士の島朗九段、上村亘五段、加藤圭女流二段の3名のプロ棋士の方にお越しいただき、指導を行っていただいた。この将棋教室は、次年度以降も計画しており、随分長い時間だったが子供たちも真剣な眼差しで取り組んでいた。

(5) 令和7年度 利府町キャリアシップについて

(説明者：教育総務課長)

実習については、大きな事故もなく無事に終わることができた。実施期間は、11月10日から14日までの5日間実施した。実施内容、参加した中学生は3校合わせて365人である。受け入れ事業所は、121ヶ所である。実施に向けて、キャリアシップマナー講習を各中学校で実施した。昨年度もお越しいただいた塩釜高校の高橋先生に、講習を実施していただいた。安全対策についても注意啓発を図り行った。次ページ、受け入れ事業所の一覧である。名称変更等も含めた新規は、9事業所となる。イオン尾上 GM がキャリアシップの委員長を務めている関係もあり、いろいろと参加を働きかけていただいていた新規受入れと思っている。2件のマスコミの取材の申込みがあったが、両方とも空振りになった。マナー講習も取材の申し込みがあったが、当日になってキャンセル。役場受け入れの辞令交付式の際もテレビ取材の申し込みがあったが、急遽当日キャンセルということで、おそらくクマ出沒の影響と思っている。

(質疑)

村松委員

資料の赤字部分は何か。

教育総務課長

赤字は当初の予定よりも、受け入れたということである。

村松委員

人数は何人でも良いのか。例えば、26 ページの 43 番森林インストラクター協会には 10 人も行っている。

教育総務課長

事業所が最大何人受け入れられるかを確認しての範囲であるので、大丈夫である。それを超えてお願いすることは基本的にない。

(6) その他

(説明者：教育総務課長)

①仙台管内教育委員会協議会研修会について

11 月 19 日水曜日、令和 7 年度仙台管内教育委員会協議会の第 2 回研修会に参加した。講演いただいた佐藤靖泰さんは、青山小学校に開校した頃に在籍していたとの事で、講演終了後に挨拶した。去年、しらかし台小学校や青山小学校に出入りして、協力いただいているという話があった。主なところは、校務の DX と教育データ利活用について、連携が必要になってくるという内容であった。校務の DX は、教職員の方の事務のパソコンで、教育データの利活用は、児童生徒に関わる授業系のパソコンで、連携していない学校がほとんどなので、そこを連携していくのが良い。昔の年金機構の問題で、LGWAN 系とインターネット系と内部で使うものを 3 つに遮断しようという動きがあり、その影響による。きちんと措置を講じた上でつなげていかないといけない。例えば出席を再度入力するとなると大変なので、連携していきましょうという話だった。宮城県の ICT 活用頻度の実態で、タブレットの活用頻度が高ければ学力が高い傾向があるという話があり、きちんと使っていきましょうという内容であった。

②宮城県町村教育長会教育委員・教育長研修会について

11 月 21 日金曜日午後 2 時から、加美町の中新田公民館で開催された。宮城教育大学の越中康治先生による講演で、事例動画を視聴しながらの講義であった。大枠で言うと、すぐに大人が幼稚園児の変化やトラブルに口を出して仲裁するよりも、自発的な活動を見守って、活動を尊重して引くのが良いという内容であった。例えば、色々な特性があるお子さんがいたとして、先生がすぐに何かをやってしまうと周りの子も「あの子はすぐに大人に何か言われる子」となって、そのまま育ってしまうと色々影響があるというお話があった。トラブルはすぐ止めてくださいという保護者への対応はどうしたらいいかという質問があった。正直、答えはないが、保護者の方の価値観を変えるのもなかなか難しいので、その代わりに幼稚園でその子供の活動を保障してあげることで対応するというような話であった。

(7) 教職員の事故について

教育長職務代行委員

(7) 教職員の事故については、個人情報が含まれるので秘密会とする。

(8) 各小・中学校の状況について

教育長職務代行委員

(8) 各小・中学校の状況については個人情報が含まれるので引き続き秘密会とする。

1 1 事務局からの連絡事項

(1) 令和7年12月定例会の開催について

次回開催予定日は、令和7年12月24日水曜日午後1時からである。

(2) 令和8年度定例教育委員会開催予定表（案）について

現時点での予定となるため、変更等あれば随時お知らせしていく。

1 2 閉会